

福島第一原子力発電所における夏期に向けた注水量変更について

- 冬から春にかけての温度推移から、今後、夏が近づくにつれ、外気温が上昇することに伴い、1～3号機原子炉压力容器・格納容器温度が緩やかに上昇することが予想される。
- 現在の注水量（1号機：6.5m³/h、2号機：9.0m³/h、3号機：7.0m³/h）での注水を継続すると、3号機の温度が1,2号機と比較し、若干高い温度となることが予想され、保安規定の運転上の制限に対する余裕が3号機だけ小さくなる。
- 各号機の原子炉への注水量を、熱収支を考慮した温度予測をもとに、最適な配分（1号機：5.5m³/h、2号機：8.5m³/h、3号機：8.5m³/h）に変更することで、夏期における各号機原子炉压力容器・格納容器温度の制限値に対する余裕を一定程度維持することを目的として、注水量変更を行う。
- 注水量変更後の温度トレンドを評価を行い、温度予測どおりに推移するかどうか監視する。

1～3号機原子炉への注水量の変更について（予定）

